

ご存知ですか？言語聴覚士
—コミュニケーションと飲み込みの専門家—

セミナー& 個別相談会

このような方は是非ご来場ください

- 最近きこえづらくなってきた
- 発音がはっきりしない
- どもるようで気になる
- 最近むせやすい
- 子どものことばが遅い気がする
- 失語症について知りたい
- 家族のことば・聞こえ・飲み込みが心配
- 言語聴覚士の仕事に興味がある

日時

2017年9月24日(日) 午後13時～16時

会場

春日部市民活動センター ぽぽら春日部
4階 会議室1・3 (埼玉県春日部市南1-1-7)

入場
無料

(事前予約不要)

第1部

知っておきたい！聞こえとコミュニケーション

①13:00～13:20

②14:00～14:20

講師

岡野 由実(目白大学耳科学研究所クリニック 言語聴覚士)

第2部

ちょっと気になる！子どものことば

①13:30～13:50

②14:30～14:50

講師

田尻 恵美子(春日部市ことばの教室 言語聴覚士)

同会場にて、個別相談会を開催します！

専門の言語聴覚士が個別にご相談に応じます。ご本人でも、ご家族のことでも構いません！
※詳しくは裏面をご覧ください☞

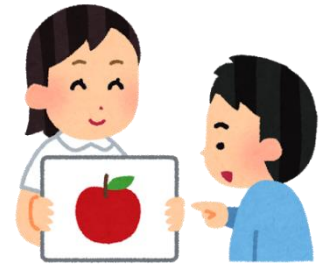


言語聴覚士 (Speech-Language-Hearing Therapist) とは

言語聴覚士(ST)は、1999年に国家資格として誕生した新しい専門職です。日本にはまだ約2万5千人ほどしかいません。ことばに対して何らかの障害を持つ人は日本に約650万人もいるといわれているなか、言語聴覚士は圧倒的に不足しており、今後、活躍の場はますます広がります。この言語聴覚の日のイベントは、言語聴覚士を広く知っていただくことを目的として、毎年9月に行われています。

言語聴覚士の仕事は、ことばや聞こえ、認知、飲み込みなどに問題がある方々に対して、評価・訓練・指導などを行い、思いを伝えあって生きる喜びを持てるように専門的立場から支援します。

食べること、人とコミュニケーションをとることは、人間が生きていくうえで欠かせません。ところが、なんらかの要因でこれらがうまくいかないと、日常生活を送るだけでもとても大変になってしまいます。言語聴覚士は、そんな人々をサポートする重要な役割を担っています。まず、その困難の原因がどこにあるのかを調べ、どんなサポートが必要かを考えます。そして、必要な機能やその代替りとなる手段の獲得を目指し、その人らしい豊かな生活を目標に様々な支援を行っています。



第1部「知っておきたい！ 聞こえとコミュニケーション」

① 13:00～13:20

講師

岡野 由実

目白大学耳科学研究所クリニック 言語聴覚士
埼玉県言語聴覚士会 理事
認定言語聴覚士(聴覚障害領域)

② 14:00～14:20

<セミナー内容> 年齢を重ねると誰もが聞こえづらさを感じるようになっていきます。聞こえにくいことにより、コミュニケーションに支障をきたすことも少なくありません。このセミナーでは、おもに加齢性の難聴について、聞こえの仕組みと補聴器に関する豆知識、難聴のある方とのコミュニケーションについて言語聴覚士の立場からお話したいと思っています。(※補聴器の販売や販売店のご紹介はいたしません。)

第2部「ちょっと気になる！ 子どものことば」

① 13:30～13:50

講師

田尻 恵美子

春日部市ことばの教室 言語聴覚士
埼玉県言語聴覚士会 会長

② 14:30～14:50

<セミナー内容> 多くのお母さんは子育ての中で、子どものことばの遅れや発音、吃音などことばの問題が心配になる時期があります。どうしてことばの問題が起こるのか、気になったらどうすれば良いか、誰にどのように相談すればよいのかなど、「ちょっと気になる」ことばやコミュニケーションの発達上の問題について、専門家の視点からわかりやすくお話したいと思っています。

相談会

同じ会場にて、個別相談会を開催します！

ことば・聞こえ・飲み込みについて、お困りのことに言語聴覚士が個別でお応えします！

ご本人のことも、ご家族のことも構いません。この機会に是非ご相談ください！

※詳しい検査はできませんので、予めご了承ください。

お問い合わせ先

一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会
ホームページ: <http://www.st-saitama.org/>
E-mail: gengonohi_saitama@yahoo.co.jp



会場地図

